

# 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和5年度 第1回美里町近代文学館運営審議会
- 2 開催日時 令和5年7月6日(木)  
午前10時から午前11時53分まで
- 3 開催場所 美里町近代文学館2階視聴覚会議室
- 4 会議に出席した者
  - (1) 委 員 小野ゆかり委員、岩渕せつ子委員、渡邊智佳子委員、木田真由美委員  
志摩勝彦委員、千田優子委員、半田孝志委員
  - (2) 事務局  
教育総務課長兼近代文学館長兼小牛田図書館長 伊藤博人  
課長補佐兼南郷図書館長 草刈明美、近代文学館主幹 菅井清  
近代文学館主幹 大窪里美
  - (3) 欠席者 岩渕恵子委員、鈴木啓司委員、佐藤喜美代委員
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
  - (1) 議題
    - ① 会議録署名人及び会議書記の指名
    - ② 令和4年度事業報告について
    - ③ 令和5年度事業計画について
    - ④ 近代文学館要覧について
    - ⑤ 図書館利用状況について
    - ⑥ その他
  - (2) 会議の公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 なし
- 7 傍聴人の人数 なし
- 8 会議資料 別紙のとおり
- 9 会議の概要
  - (1) 会議録署名人について  
会議録署名委員は、渡邊委員、半田委員とする。
  - (2) 令和4年度事業報告について  
館内行事、町民ギャラリー企画展等について、人数制限等感染対策を十分に行い実施した旨事務局より報告を行った。

(3) 令和5年度事業計画について

図書館行事、町民ギャラリー企画展等の計画について、コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、通常規模で事業を実施していく旨事務局より説明を行った。

「POP決戦！本の三国志」の展示について、南郷中学校の生徒も参加しているので、南郷図書館でも展示してはどうか、等の意見が出た。

(4) 近代文学館要覧について

近代文学館要覧について、資料の予約・リクエストの状況、資料の蔵書数等について事務局より説明を行った。

沿革について、コロナウイルス感染対策として、どのような対応をしたのか等を載せておいた方が、今後同じようなことがあった時に対応できるのではないか、等の意見が出た。また、適宜修正する箇所もあるので、その旨修正することとした。

(5) 図書館利用状況について

個人利用者の利用状況の推移について、事務局より説明を行った。

令和2年度のデータもあると、コロナ禍で個人利用者数がどのように推移したか比較できるのではないか、等の意見が出た。また、適宜修正する箇所もあるので、その旨修正することとした。

【発言内容の記録】

発言者	発言内容
菅井主幹	<p>皆様おはようございます。定刻になりましたので、会議を始めたいと思います。開会に当たりまして、伊藤館長よりご挨拶申し上げます。</p>
伊藤課長兼館長	<p>どうも皆様お世話様でございます。ここ1、2週間で、一気に気温も夏の装いになってきてですね、そうなるとうごく大変だなと思うのが、本日会議にお集まりの皆さんもつけていますが、マスクをしてると本当に呼吸も苦しいですね。</p> <p>新型コロナウイルス感染症ですが、今年の連休明け5月8日に感染法上の位置付けが、これまでの2類から5類に引き下がってですね、その取り扱いも大きく変わってきております。</p> <p>皆さんもいろいろ普段の生活の中でそちらの部分は実感しているかと思いますが、こちらの役場の中でも、これまではパーティションだったり、ビニールで皆さんとの感染、例えば仮にですね、職員が感染した時に皆さんに感染させないような工夫をやっておりましたが、そちらの方も徐々に緩和しておりまして、特に議会の議場なんかはこれまで全部一人一人アクリルのパーティションで囲って本当に休憩になるたびに消毒作業をやってたんですけど、5類移行後はパーティションを全部撤廃して、事務室なんかもある程度パーティションだったり、区切りっていうのを少なくしている状況です。</p> <p>ただ、庁舎の窓口をはじめ、本日皆さん玄関から入ってきていただいてお気づきになった方もいらっしゃるかと思いますが、こちら近代文学館のカウンターは、やはりどうしても高齢者の方の利用も多いということから、スタッフと毎月その時の皆さんの状況とか、綿密に話し合いをしながら、結論としてはまだ、ビニールで飛沫の対策と念のために簡易なものですが、アクリル板を置いた形で来館者の皆様の接客をやっているところであります。</p> <p>こちらにつきましても、ここ1、2週間のニュース報道でも盛んにされておりますが、今沖縄でかなり専門病床の病床利用率が上がっています。1、2週間ずっと連日ニュースで放送されているところです。日本の流行の拡大っていうのは、まずこれまでの第8波までは、沖縄で流行してからそのまま北上してくるということで、本州の方も予断を許さないということで報道もされております。</p> <p>実際町内でも感染者というのはかなり数少なくなっております。ただ、直近でうちの本庁舎でも、今週感染者がでたりとかですね、過敏に怖がらなくてもいいですけども、しっかりとした感染症対策をやらなければならないっていうのを改めて思い知らされているところです。</p> <p>本日の運営審議会につきましては、昨年度の事業報告をさせていただきます。その後、もう今年度も年度が始まって第1四半期を過ぎたところではあります。今年度の小牛田図書館、近代文学館、あと南郷図書館の各種事業について皆様の方にご説明させていただきまして、いろいろご意見がいただければと思っております。皆様の忌憚のないご意見をよろしく願います。</p> <p>以上簡単ではありますが、私からのご挨拶とさせていただきます。</p>
菅井主幹	<p>ありがとうございました。それでは職員を紹介申し上げます。6月から参りました大窪でございます。</p>
大窪主幹	<p>大窪です。よろしく願います。</p>

菅井主幹	私、4月からこちらに参りました菅井と申します。あとは南郷図書館長の草刈でございます。
草刈課長補佐兼館長	草刈です。よろしく申し上げます。
菅井主幹	ただいまご挨拶申し上げました近代文学館長の伊藤でございます。
伊藤課長兼館長	昨年の会議で私、総務課長ということで、皆様と会議でお話をさせていただきましたが、今年度から総務課長の他に、近代文学館長と小牛田図書館長兼務となっております。どうぞよろしくお願いいたします。
菅井主幹	ありがとうございます。それでは恒例に従いまして、議長席に委員長さんお願いします。申し訳ありません。議事録署名委員の方、ご発言お願いします。こちらで当たっている方は二名用意しております。
木田委員長	はい、どうぞ。
菅井主幹	渡邊智佳子委員と半田孝志委員に議事録署名委員の方をお願いしたいと思います。
木田委員長	ご両人よろしいでしょうか。 (はいとの声あり。) お引き受けいただくということで、どうもありがとうございます。
菅井主幹	よろしく申し上げます。
草刈課長補佐兼館長	では協議に移りたいと思いますので、ここからは、木田委員長さんに進行をお願いいたします。
木田委員長	木田です。よろしくお願いいたします。次第の4報告・協議(1)令和4年度事業報告について、事務局お願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	それでは皆様のお手元に要覧を事前に配布していたかと思いますが、令和4年度の事業報告ということで、そちらにある資料を使ってご説明させていただきたいと思います。 【令和4年度事業報告について説明】
木田委員長	では、これについてご質問ないでしょうか。 そしたら、よろしいでしょうか。私から質問があるんですが、先ほど16ページのおはなし広場の南郷のところなんですけど、人数が2人、35人っていうのが、令和4年とまるっきり人数が同じなんです。こういうことってあるんでしょうか。 延べ人数が2人、延べ35人っていうことで、令和4年度の要覧のところも、延べ2人と延べ35人になってますね。こういうことって本当に本当ですか。私の持っているいただいた要覧ではそうなってます。4年度のはこれは令和3年度の実績が書いてありますよね。これは令和4年度の実績ですよね。
草刈課長補佐兼館長	すいません。こちらもう1回確認します。
木田委員長	同じになることがありうるのかどうかって確認しました。
草刈課長補佐兼館長	数字は確かにすいません。もしかしたらこちらの記入ミスかもしれません。ただ内容といたしましては、やはり人数は減っているというところがありましたので、この人数は確認して、訂正するときは訂正いたします。
木田委員長	その他皆さん方からはよろしいですか。また後の要覧についての審議をするときに、ご質問等あればなさってください。では(2)の令和5年度事業計画について、よろしく申し上げます。

草刈課長補佐兼館長	それでは令和5年度の事業計画についてご説明いたします。 【令和5年度事業計画について説明】
草刈課長補佐兼館長	【令和5年度事業計画について訂正事項説明】
木田委員長	ありがとうございました。では委員の皆様、質疑の方よろしくお願 いします。ご意見等ございませんか。
木田委員長	では、木田が一つ。POP決戦本の三国志が一応小牛田図書館の方 で展示等なんです、それは南郷でも展示っていうのやったんでした っけ。
草刈課長補佐兼館長	南郷では行ってないですね。
木田委員長	南郷中学校もあるので、そちらの方でもぜひ中学生こんなことやっ てますよっていうので、こちらの展示が終われば、南郷図書館でもい っぱい見ていただけるように、向こうにも展示していただき、あと地 元の方にも頑張ってるなっていうところを見せてあげて欲しいなっ ていうふうに思いました。
草刈課長補佐兼館長	はい。そちらの方で、できるだけやるように調整をしながら行いた いと思います。
木田委員長	その他委員の皆さん。はい、半田委員さん、どうぞ。
半田委員	南郷図書館のおしゃべりサロン。今、5回あるうちの一つは終わっ て、残り4回分について、何をするかっていうお話はいただきました。 それで、ここには対象者が書いてないんですが、これはそれぞれ 違うという。
草刈課長補佐兼館長	今のところ一般が主な対象者になるんですけども、先ほど申し上げ た通り、かるた大会とかだと子供も含めるかどうかっていうところ でここまだ未定のところだったので、本来もしかしたらここに一般か ら幼児、子供とかというふうに入れてもよかったかとは思ったん ですが、そういうところで今未定にしました。 こないだの折り紙教室に関しても、一応一般だったんですけども、 親子で参加したいという方もいらっしゃったと、中学生が参加し たいっていうことだったので、そういった特例ではないですが、 そういう形でも参加しても大丈夫ですっていうことがありまし たので。はい。
半田委員	その時期になれば、大体こういう方を対象にするんですよって いうのは出ますよね。
草刈課長補佐兼館長	広報とあと館内のチラシでお知らせはいたします。
木田委員長	他の委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいですか。ではまた後 程お気づきの点がありましたら、ということにしたいと思います。 (3) 近代文学館要覧について、お願いします。
草刈課長補佐兼館長	【近代文学館要覧について14ページまで説明】
木田委員長	では、要覧についてのご質問ございますでしょうか。半田委員。
半田委員	4ページの沿革なんです、昭和57年のところに、図書館をなぜ作 るかっていうのを掲載したそうなんです、この文言を私は削ったら どうかと思うんですが。 その地域に図書館があるかどうかは、その文化水準のバロメータ

	<p>一でもあるというのがドンと載ってて。はっと私は疑問に思った。その文化水準ってなかに。なんででしょう。</p>
草刈課長補佐兼館長	<p>そうですね。これは長期総合計画に書いてたんだと思うんですけども、図書館会のところでは、図書館は学習の基盤であるという考え方が一つあるんですね。そうすると、やはりそこに図書館があることによって、皆が個々で学習をするために、素地というか、基盤がそろっているかどうかというのを一つ考えるための基準になるのではないかということが言われているところなんです。</p> <p>例えば財政的とか、地理的とかでそれを建設する自治体が難しいところもあるかもしれませんが、そういったところで、自ら学べるかどうかというそれを図る一つの、図書館があるから全部がその文化水準のバロメーターではないと思いますけれども、一つの基準として考えられるのではないかということで、ここに挙げているのだと思いますけれども。はい。</p>
半田委員	<p>今もいろんな、例えばスマホでいろんな情報をもらう。あるいは図書館に行かなくても、本屋さんとかあるいはスマホ等で必要な図書を見るところとかいう文化がある中で、今これを載せておくのはまずいかな、まずいっていか、これを読んだ時に私何を思ったかっていうと、ついこの間まで図書館のないところってあったよなって。そういうところってじゃあ文化水準って低かったのかなっていうふうに考えると、いやそんなことねえべなって。</p> <p>だから、図書館があっというんな人が多分地域の人達も含めて利用して欲しいってのはあると思うんですが。それと、文化水準、じゃあ図書館利用してるから文化水準高いのかっていうと、なんかそういう気もなく。私が言いたいのは、この部分だけ削除したらどうかっていう提案です。</p>
草刈課長補佐兼館長	<p>はい。ちょっとここは、どうするか確認したいと思います。</p>
菅井主幹	<p>議長さん皆さんのご意見を聞きたいと思うんですけども。</p>
木田委員長	<p>今、半田委員さんの方から提案ですね。黒くっていかグレーになっているところは、今考えてみればっていかその当時はそうかもしれないけれども、今の文化状況とか多様性等を考えると、もう今にはそぐわない文言ではないかと。それをわざわざ沿革史の中に載せておく必要はないのではないかとのご意見だったと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
半田委員	<p>多分この近くでも図書館がない町ってあると思います。じゃあそういう人たちがこれを読んで、ん？ってならないかなって。早い話が昭和57年までにも美里町に図書館がなかったとすれば、そういうふうに見られていたのか。本当にそうだったのか。ってところですよ。</p>
木田委員長	<p>ちょっとごっちゃにしないでください。ここは過去にそういう意図でもって、総合計画が制定されていたという事実だけであって、それを今妥当かどうかというのを審議する場ではないので。</p> <p>ただ、今の沿革史に載せる必要があるかどうかという点だけのご意見をいただきたいと思います。もうこれは、沿革史上は必要ないというご意見というふうにまとめたいと思いますが。</p> <p>沿革史も今年の方が何か入るとすると、スペース上も文言を削っていかなければいけないということもありますし、どうしてもこの文言を図書館側事務局側で残しておきたいという何か意図があるのであれば、その意図を説明していただいてってということですね。</p>

<p>草刈課長補佐兼館長</p>	<p>私もここの策定にいたわけではないので、どういう話し合いをしたのかはちょっと分からないですけれども、やはりその当時ですね、県内に図書館はほとんどありませんでした。</p> <p>美里町の前身の小牛田は、文化会館を建設したり、文化に力を入れてたっというところもありましたので、おそらくそういったところで、さらにもう少し文化を強めていきたいというような気持ちもあったのかもしれませんが。その当時は日本全国図書館が少なかったんですね、自治体に。やはりある種スローガンのではないですけれども、やはり図書館をもっとそれぞれの自治体に設置していきたいという、そういう気持ちもあったのかもしれませんが。</p> <p>それによって、やはりみんなが先ほど申し上げたように、個々に学ぶ力を学ぶ場所を、そういったところを身近に作っていききたい、そういう意図があってそういう言葉が生まれたのかもしれませんが。</p> <p>なので、当時と今では大分違いまして、県内でも合併とかもありましたから、図書館が設置されていない町は、女川、大衡、大和くらいです。</p>
<p>菅井主幹</p>	<p>14 市町村あります。35 市町村中 14 市町村で公共図書館はございません。</p>
<p>草刈課長補佐兼館長</p>	<p>そういうところでまだ作ってはいないんですけれども、これから建設するところもありますし、近隣の市町村が広域利用圏のような形を作って、図書館の相互利用ということを行っているところもあります。そういったところでの、今の県内の状況になります。</p> <p>なので、皆さんの中でこれはもう削除していいのかどうかというところで話をさせていただければと。</p>
<p>菅井主幹</p>	<p>いや、この場で決める話ではないでしょ。</p>
<p>草刈課長補佐兼館長</p>	<p>こちらの方で検討させていただきたいと思います。</p>
<p>菅井主幹</p>	<p>発言してよろしいですか。思い出話をちょっと思い出したんですけども。</p>
<p>菅井主幹</p>	<p>かつて、市区町村がいっぱいあった頃ですね。合併が始まる前に河北新報に、おらほの町さ何で図書館ねえのやって、旧築館町と旧小牛田町の記事が連載でやってたのを思い出したんですけども。</p> <p>そういう図書館を増やせよっていう意図があったのかなど。河北新報の方でもそういう感じで書かれてたような記憶があります。</p> <p>ちなみに栗原市は旧築館町の図書館がそのまま栗原市図書館になってるだけです。</p>
<p>草刈課長補佐兼館長</p>	<p>あと金成が分館になってます。はい。</p>
<p>菅井主幹</p>	<p>県内の市で、今、富谷市が計画中で建てようとしてますけども、富谷市を除けば市がつく自治体は全部あるわけですね。複数ある自治体もあるんですけども。</p> <p>栗原市の悪口言うわけではないんですけども、その程度の状況なんですね。で、35 市町村中、圧倒的に公共図書館がないのは、町村なんですね。富谷市が市で一つ、あと 13 は町村の方です。</p> <p>ですから、沿革とすればその当時の表現とすれば、これは謳いたいところの文言ではないのかなど。小さくてもいいから残してでもいいのかなっていう気はしますね。その当時の沿革ですから、その当時の売り込みたい気持ちとしてこういうふうな表現をとったのかなど。</p> <p>ご批判はあるでしょうけども、沿革ですので私は残した方がいいん</p>

	じゃないかなと思います。
木田委員長	事務局の思いを語っていただきました。あくまでもこれは歴史的事実としてこういう文言があるということです。はい。半田委員。
半田委員	それで、この要覧というのはどなたが読むのかということをお聞きしたいです。私たちは、その辺でちらっと読むということが今までなかったもので、どなたがこれをお読みになるのかって言うことをお聞きしたいんですが。
草刈課長補佐兼館長	こちらはですね、図書館の資料として館内に設置してありますので、利用される方どなたでもご覧いただけます。あと、もちろん運営審議委員の皆さんにもお渡ししてますし、議員さんとあと教育委員さんにお渡ししているところです。あと、県内の各図書館にすべて送っておりますので、そちらの方で閲覧できますので、県内の人たちどなたでも利用できる、閲覧できる資料になってます。
半田委員	ということは、私たちでも他の図書館の要覧は読むことができる。
草刈課長補佐兼館長	こちらの方に送られてくるものに関しては、読むことができます。
木田委員長	この文言を残す残さないに関しては、もう事務局におまかせするということでしょうか。委員の皆さん。 (はいとの声あり。) じゃあ、その他ございますか。はいどうぞ。
半田委員	6ページになりますが、平成23年の3月。東日本大震災により被災し、3月11日から4月8日まで休館したと書いてあります。 同じようなことが、コロナが発生した時、2020年にほぼ1か月休んでます。それについての記述はないんでしょうか。確か2020年の4月の8日から5月の12、13まで休んでたんですよね。それについての記述がないので載せたらどうかという提案です。
草刈課長補佐兼館長	わかりました。こちらの方で入れるようにいたします。
菅井主幹	これ、4月8日までとなってるんですけども、4月8日電気きてた。
草刈課長補佐兼館長	途中から来たんです。それで、9日から開けたんです。
菅井主幹	もっと長かったような記憶があるんですけどね。電気こなかったの。
草刈課長補佐兼館長	1日か2日できました。
木田委員長	はい。じゃあその他。 コロナによる閉館っていうのも、やはり歴史的な事実にはなるかと思うので、ぜひ1行なりともということですか。
半田委員	それで、もしコロナによるっていうのはどういうふうになるか、入るか分かりませんが、東日本大震災の時にはいろんな物が落下したっていうふう書いてあります。今回は括弧書きでどういう対策をしたか、例えば、消毒液とかパーテーションとかそういうのを入れておくと、10年先20年先に同じようなことがあった時に対応できるんじゃないかなというふうにも思いました。
菅井主幹	椅子とかの張替えしてますね。モケット生地をビニール生地に替えて、アルコール消毒しやすいような、こういう今みなさんがお座りのような椅子に替えてますね。
伊藤課長兼	これは入れましょう。



館長	
草刈課長補佐兼館長	はい。
木田委員長	この2021年のソファ、テーブル、パーテーション等とはまた別のことですか。
草刈課長補佐兼館長	それはコロナ対策のために行っているものです。休館の時にはやはりもう本当に感染しないためということでの対策になります。
菅井主幹	令和2年度にコロナ対策費で、図書費の方もちょうだいしている経緯があります。その他にコロナ対策として、ソファ、テーブル、パーテーション等の購入をしていると。この辺の記載を上手に記載すべきです。
草刈課長補佐兼館長	ソファ、テーブルの購入のところにコロナ対策としてとかっていう文言を入れて明確にしたいと思います。
半田委員	ただ、コロナ禍で、明けてすぐにあったのが確か消毒液とかパーテーションがすぐ設置されて、あと小牛田には、本を入れて持ち運ぶカゴがあるんですよ。10冊ぐらいポンと入れて持ち運ぶ。あれが廃止されたんですよ。 聞くとところによると、持つところがあって感染がするかどうかというか、そういう理由でそのカゴがなくなったの。この間、前はカゴがあったんだけどって聞いたら、えっ、知りませんって。南郷にはあるんですよ。小牛田にはないんですよ。前は小牛田にあつて南郷になかったんですね。南郷図書館に小牛田のようなカゴを置いてくれて言ったのは私なんです。10冊ぐらい借りるからすごい便利です。そして今度は小牛田にはなくて。まだ置いてねえのかなと思ったら、知らないって、結構やっぱり司書さんも入れ替わりあるらしくて。分からないですって言われて。今も多分置いてないと思うんですけども、そういう置いてくれとかではなくて、そういうのをコロナの直後にすぐやったっていうことを、明記したらいかがでしょうか。あれはショッキングな話。
草刈課長補佐兼館長	いろいろ他にもやってるので、書き方を少し工夫させていただきたいと思います。
半田委員	ちなみに南郷で体温を測定するやつがあるんですよ、役場に入るときに。あれって図書館に行くときやる必要あるんですか。
草刈課長補佐兼館長	あれは役場の施設に入る段階でしていただくので、他の課にも皆さん行くと思いますけれども。
半田委員	図書館にあつたらすぐ行くと早いんですけど。
菅井主幹	でも、言われてみれば変ですよ。庁舎の入口にあるのに、なんで図書館の入り口にはないんだって。私も3月まで南郷庁舎にいたので、ピンとこないんですけどもおっしゃる通りですね。
半田委員	南郷にあるからまあしょうがないかってやってるんですけど、警告発せられたことがあるんですよ。入室禁止です。それはいまだにトラウマになって、南郷でもドキドキしながら測ってるんですけど、今日は小牛田でいいかって小牛田に行くと小牛田にはないので、平然としてきますけど。わかりました。南郷でもするようにします。
木田委員長	一応、町の施設には置いておくという決まりみたいなものがあるんでしょうか。質問なんですけれども。
伊藤課長兼館長	お気になさる方もいらっしゃるのですが、現時点では、5月8日の5類になった以降は、あのような体温計で強制的に温度を測

	るっていうものではもう5月8日以降はありません。
半田委員	じゃあ測らなくていい。
伊藤課長兼館長	大丈夫です。例えばご本人がやっぱり気になさって、庁舎に来られる方で測られる方ってかなり多くはいらっしゃるんですが、そこはスルーしてもらっても全然問題はありません。 ただ、やっぱりあからさまにですね、具合悪そうでごほごほ咳をしながら顔を真っ赤にしてとか、ちょっと極端な話ですけど、それで例えば来庁される場合は、もしかしたらご気分とか大丈夫ですかっていうことで、お声がけは当然のことながらするかもしれませんが、今現時点のあそこのサーマルセンサーですね、体温計をそこで自分の体温を測ってからっていう、強制するものではございません。そこは現時点では問題ないです。
木田委員長	その点は半田委員さん、ご納得いただけたということで。
半田委員	これは納得しました。
木田委員長	はい。ではその他委員の皆さんありますでしょうか。 では、私の方から、10ページの蔵書の推移のところなんですけど、令和3年度から令和4年度ですね。小牛田図書館の方は非常に一般書が減ってますけども、つまり廃棄数が相当増えたということですよ。
草刈課長補佐兼館長	そうですね。やはり破損、汚損、あと複本のものとかがかなりありまして、工事を1か月半行ってた時に、もう一度見直しを全部かけましょうということで、このところで廃棄を行っています。 例えば、前まで地区公民館の方に置いておくだけの本とかっていうのもちょっと置いてたんですけども、今そちらの方もあまり利用がないということもあったので、そこも含めての図書の整理ということを行いました。
木田委員長	それで返却されないで紛失本扱いになってるとかっていうのは、一体どのくらいあるんでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	小牛田はちょっとごめんなさい。私は正確な数字がちょっと分からないんですけども、南郷に関しましては、今、多分15冊か20冊くらいになります。長期延滞で戻ってこないのがそのくらいになります。 それで、あとすでに南郷では今年の蔵書点検ということで、本の棚卸しのようなものを不明本とかを探してるんですけども、そちらは、不明になってる本が2冊、3万冊の中で2冊ということになります。ちょっと小牛田の方は、長期延滞のものは後できちんと数字を出したいと思います。
木田委員長	ありがとうございます。続いてまた質問です。11ページの新聞・雑誌のところですが、(5)ですね。新聞の方が南郷が2紙減らしていると。それから雑誌の方も小牛田で一つ、それから南郷で5タイトル昨年度に比べて減らしてるんですけど、これは予算でしょうか。利用者数でしょうか。
草刈課長補佐兼館長	予算も関係するんですけども、雑誌に関しては、休刊、廃刊がありまして、それに代わる雑誌がなかなかないところなんです。新聞に関しても、利用の状況ですとかそういったことを考えて、精査して減らしたということです。
木田委員長	はい。続いて13ページの質問をしたいと思います。利用状況で、令和4年度の登録者数が、(1)ですね。登録者数が、(2)の一番下の登録者数の合計と合わないんですけど。
草刈課長補佐	すいません。ここは計算し直します。

佐兼館長	
木田委員長	どう考えても、ざらっと見ても、ええって言うぐらい数が違いすぎる。
草刈課長補佐兼館長	そうですね。すいません。ここは計算し直します。
木田委員長	どちらが正解なのか。(2)の地区別の合計を足すと、上の(1)の登録者数にならなきゃいけないんですよ。ちなみに去年の要覧はちゃんとあってました。今年はどう考えても、足し算しましたが、3000以上違います。
草刈課長補佐兼館長	すいません。
木田委員長	よろしくお願いします。私の方からの質問は以上でした。それでは、他に委員の皆さんの方から要覧についてのご質問、ご意見等ございませんでしょうか。それでは、要覧の21ページ以降の説明をお願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	<b>【近代文学館要覧21ページ以降について説明】</b>
木田委員長	はい。では、ベストリーダーの部分ですが、それについて何かお気づきの点等ありませんか。 すいません。私の方から体裁的な部分でちょっと直して欲しいところがあるので、後でお知らせしたいと思います。 内容的に皆さんいかがですか。それでは25ページの12の美里町のできごとについてはいかがでしょうか。 じゃあ、私から質問ですけれども、前にも聞いた委員さんがいるかもしれないですが、この新聞社に関してはこちらから売り込みしてるものと、向こうから来たものと、その割合ってどんなものなんでしょうか。
草刈課長補佐兼館長	割合はちょっと分からないんですけども、こちらで事業を行うときには、各新聞社さんの方に情報提供をFAXとかで提供してます。 あと、メディアの方でも、例えばフェイスブックとか、町のホームページとかそういったところを見て、取材にいらっしゃる方、あとこの間あったのは、利用者の方が新聞社の方にこういうことをやってるので、取材をしてみたらいかがでしょうかっていうこととお話をさせていただいたということもあります。いろいろな形で報道の方には情報が流れていると思います。
木田委員長	委員の皆様いかがでしょうか。よろしいですかね。またちょっとお気づきの点がありましたら、(5)その他のところでもお話してください。(4)図書館利用状況についての補足をお願いいたします。
草刈課長補佐兼館長	<b>【図書館利用状況について説明】</b>
木田委員長	すいません。ちょっと要覧の13ページの利用状況のところと、この人数比べると南郷は合ってるんです。貸出件数と利用者人数は南郷は合ってますが、小牛田の方が合わないんですが、どっちが正確なんでしょうか。月別利用者数の合計のところを見ると、南郷は2万3817で、利用者数が6297であってます。小牛田が微妙に違います。
草刈課長補佐兼館長	貸出冊数がすいません。7万5827の方が正解です。要覧の方があってます。
木田委員長	利用者数も要覧は2万1668になってますが、これも要覧の方で合ってるんですね。

草刈課長補佐兼館長	はい。要覧の方が合ってます。
木田委員長	コロナ禍での利用者数、それから貸出件数の減少にどのように歯止めをかけてくかっていう問題提起になってるかと思うんですけど。各委員さん方からご意見等いかがでしょうか。半田委員どうぞ。
半田委員	今説明のあった利用状況の推移について、個人利用なんですけど、なんで令和2年のデータがないのか。
草刈課長補佐兼館長	そうですね。入れればよかったんですけども。
半田委員	緊急事態何とかがってというのが出たのが令和2年度ですよ。このデータがあれば、まさにコロナ禍で、借り控えをしたのが少しずつ回復したみたいなのが、多分データ上出てくる可能性もあるわけですよ。令和2年度のデータも出していただければと思います。
草刈課長補佐兼館長	すいません。はい。
菅井主幹	<p>会議にあたってちょっと調べてみたんですけども、宮城県図書館で集約している数値が、令和2年度実績ですと、美里町もそうですし、県平均もそうですし、全国平均でも落ちてます。</p> <p>国内全般でコロナ禍ってことで、休んでたりしてるってことで、図書の貸し出しの方は、大分制限があったっていうのがご認識いただけたと思います。</p> <p>それで人口1人当たりの個人貸出冊数比較を作ってみました。令和3年度までですが、28年度実績で県内で4番目、29年度実績で県内で4番目、平成30年度実績で6番目、令和元年度で6番目、令和2年度で7番目、令和3年度で7番目。35自治体あるうちの真ん中よりちょっと上を歩いてるっていうような状況です。</p> <p>21の公共図書館がある市区町村と公民館図書館だけの14市区町村を合わせた35市区町村で比較してるんですけども、それでも、美里町の図書館の状況は、真ん中よりちょっと上のほうですよっていうのが状況でございます。参考意見です。</p>
木田委員長	<p>要覧を見ていてですけど、やっぱり令和2年度よりも、令和4年度の方が減ってますよね。貸出件数は確実に。復旧してないっていうか。コロナ禍よりもさらにまた減ってる。</p> <p>ということは、コロナ禍の間に、図書離れが進んでしまって、そのまま図書館に戻ってこなくなっちゃったっていうことになるんじゃないかね。</p>
草刈課長補佐兼館長	<p>いろいろな要因があるかと思います。コロナの後に例えば、電子図書が導入されたりして、若い人なんかは電子図書に入ったり、出版状況もかなり厳しくて、以前ほど本が出版されないっていうか、すごく人気のある作家さんは次々出すんですけども、そうじゃない作家さんがあんまり出てこないとかっていうことがあります。</p> <p>電子図書とかの話もよく聞くんですけども、図書館で電子図書サービスをしているところも県内で今、仙台市と白石の図書館が行ってるんですけど、タイトル数がかなり少なく、仙台市は別ですけども、白石が125タイトルくらいで、あと新刊の読まれる本とかが電子図書にはなっちゃったりとかするんですね。</p> <p>ですから、図書館に限定された電子図書サービスっていうのは、一般でよくアマゾンとかKindleとか、あれをイメージしてしまうとちょっと違うものになるんですけども、そういったところがもしかし</p>

	<p>たら自宅でもう読めるからって言うふうになって変わっていったところもあるかと思います。</p> <p>反対に、ちょっと小牛田の様子が具体的なところが分からないんであれなんですけれども、南郷の状況に関して言うと、絵本とか子供の本がかなりうまい具合に動いているかなというふうに思いまして、もちろん利用者の方が選ぶんですけれども、職員の方から面白い本ありますよって言う声かけをすることで、大人の方も子供の方も児童書とかに興味を持ってもらったりすることもあるので、埋もれている本とか、まだ皆さんに紹介してない本って言うのを積極的にこれから紹介していくことで、貸し出しに繋がっていくのかなというふうには考えています。</p> <p>チラシで本の紹介とか毎月出したりもしますので、そういったところで皆さんに見ていただきたいというところもありますし、今、ホームページとかからも新刊の情報とかが検索できますので、小牛田はインターネットからの予約がかなり活発に利用されてますので、そういったインターネットからの予約サービスについても、周知について少し力を入れていきたいなというふうに考えております。</p> <p>全国的に、先ほど菅井も申しましたけれども、全体的に利用が減っているって言う現状になってます。</p>
菅井主幹	<p>先日ですね、ちょっと別件で用があって中卒の住職さんと話す機会があったんですけども、その時の話の中で出てきたのは、一般的にお年寄りの方は、どの年代層言ってるのかは確認しなかったんですけど、本便利だよ、これで読めるしねって言う方が結構多いっておっしゃってました。住職さんがですね。</p> <p>残念なことに美里町の本屋さんがなくなってしまいました。そういう状況もあると思います。福島県のある町では本屋さんがないから、古い本を集めて図書館をスタートしたっていうようなこともあったんですけども、さっきの沿革の中でバロメーターの話が出てきたんですけども、図書館があれば本屋さんにも実は栄えてるっていうようなデータがかって聞いたことがあります。日本全国の推移が我が美里町にも押し寄せてるっていう現実があると思います。</p> <p>コロナで図書館に行く人と会うのが嫌だから。人と会うのが嫌だからって言うことで、アマゾンなり通販で買っている人もいますわけです。ましてや今はリサイクルでもったいない本舗とかっていうお店も出てきて、古い本のリサイクルも進んでおりまして、図書館に行かないで自分で買うっていう人も大分増えたのではないのかなって言うことも影響されてるのかなと感じております。</p>
木田委員長	<p>はい。ありがとうございました。どうぞご自由にご意見。はい、半田委員さん。</p>
半田委員	<p>今、本を買うとかっていう話もあったんですけども、本って高いんですよ。消費税が本にも10%かかってるっていうのを見て、そんな贅沢品だったかと思ったんですけども。全国的な図書館の組織として、消費税下げてくれとかっていう要求はしてるんですか。</p>
菅井主幹	<p>消費税の話で日本図書館協会とかであったの。</p>
草刈課長補佐兼館長	<p>図書館というよりは、書店とか出版社とかで動いたっていう話は、ちょっと記事では見たことはあります。図書館よりはその手前の方ですね。出版社やその辺のところで、消費税のことは考慮して欲しいということは、あったというのを記事で読んだ記憶があります。</p>
半田委員	<p>私いろんな本を借りてるんですけども、やっぱり子供の絵本にし</p>

	<p>でも値段が書いてあって、消費税、その前にプラスになる、あるいは10%って書いてあるのもあれば、10%つけた値段が表示されてるのもあって、子供向けでも10%かって。そもそも例えば1000円なら1000円で買おうと思えばいいんだけど、さらに10%っていうと、高いよなっていう気がして。</p> <p>それが例えば、本離れに繋がってるとしたらやっぱり、下げて欲しいなっていうのはありますよね。私としてはそう思ってるんです。</p> <p>ただ、出版社でそういうことをやったっていう、それでも駄目だったんなら諦めるしかないのかなと思うんですけど。何かこれ残念な気がしてならないですね。</p>
<p>草刈課長補佐兼館長</p>	<p>ちょっと考え方なんですけれども、そういうふうにして本がやっぱりなかなか買えない。自分ではたくさん本を読みたいのに本が読めないという時こそ、図書館に来ていただきたいと。</p> <p>もちろん図書館にも予算の限度がありますので、すべてにお答えすることはできないんですけれども、例えば県内の公共図書館はかなりいろいろ持ってますので、ちょっとお時間はかかりますけれども、そういったところで提供する。そして読んで、これやっぱり面白くなかったからいいやってなればそれでおしまいですが、とっても面白いからどうしても手元に置きたいっていうときには購入するとか、そういったような図書館の活用もしていただけたらいいかなというふうに思います。</p> <p>私もこの間崖から飛び降りるような気持ちで1冊本を買いました。県立図書館から一度借りて、写真集だったんですけど、どうしても欲しくて出版社に言ったら、おまけの写真集1冊ついてきたので、得したなと思いましたが、特殊な本とかって本屋さんにも売ってないですし、アマゾンとかでも売ってない。やっぱり図書館にしかないんですね。</p> <p>ですから、図書館の利用方法としては、日常的に趣味で読む本もあるけれども、そういうような、一生に1回買うか買わないかっていうような本も図書館からは借りれると。ですからそういった使い方をぜひ皆さんにもしていただければなというふうに思います。</p>
<p>千田委員</p>	<p>今、ここ見たら予約冊数っていうのは増えてるんですね。数字から見ると。その利用状況ですね。それでですね、増えた冊数の中で15冊ぐらい私個人的に予約したんです。こちらの方で。それでちょっと時間かかったものもあるんです。2か月くらいかかったものもあるし、1週間ぐらいで届いたものもあるんですけど、すべて一応リクエストは叶いました。皆さんいろいろやってくださって。</p> <p>県立図書館とか名古屋市立図書館、あと、近いところでは栗原とかっていうので、利用させていただくことができたんです。</p> <p>だから、今言ったように、確かに高い本はリクエストを活かしてみて、それで叶う場合がほぼほぼだったものですから、そういう利用されてもいいかなと私は思うんです。</p>
<p>草刈課長補佐兼館長</p>	<p>県立図書館では、県立図書館で所蔵していない本でも、私たち県民ですから、リクエストすれば購入するという形をとっています。</p> <p>ただ、選書会議とかそういう選定委員会みたいなことが入るので、通販のようにすぐ来るわけではなくてちょっとお時間はかかりますけれども、そういった時にも、この本どうかなって思わずに遠慮なくリクエストいただければというふうに思います。</p>

千田委員	初めてなんだけどね。こんないっぱい10冊も利用したのは。でも、ほぼほぼ100%大丈夫でした。
木田委員長	千田委員さんの方からそういうお知らせがありました。もうちょっと(5)その他にも入ってるような内容になってきたんですけども。
半田委員	もう一ついいですか。今の本の値段というか金額に関わって、読書通帳でしたっけ。作ってるのが、子供向けですよ。それに本のタイトルを書いてあと値段が書いてあるんですよ。
草刈課長補佐兼館長	小牛田が書いていて、南郷はたぶん書いてないと思います。
半田委員	金額っていう欄があって金額も書くんですけど。あれ最後に合計していくら分借りたよっていうのはやるんですか。合計して最後にいくら分あなた借りたねとかってやるんですか。通帳だから。
草刈課長補佐兼館長	それはやらないです。
半田委員	私一つもらって見たらば、例として載ってたのが1500円とかって書いてありました。金額を入れるところもあって、さすがに通帳だなと思いました。
草刈課長補佐兼館長	通帳の形がいろいろありまして、金額を入れる通常型のものもありますし、あと例えば感想ですね。いいねみたいな感じで、自分の中で印象を評価していくっていうのもあるんですけども、その金額を入れる通帳としては、合計した時に例えば10冊読んで3万5600円とかって出たら、私この分節約したわとか、その分で何かまた違う本を買えるとかってというような目安みたいなものかと思うので、それで10万円分読んだからどうのこうのっていうことは多分ないと思います。
半田委員	全国の中のどっかの図書館だと思うんですけども、本のタイトルとまさに金額入れて、子供が何十万相当借りたとかっていうのがあって、それが私はいいいとは思わないんですけども、動機づけの一つにもなるのかなあとは思うんですよ。
草刈課長補佐兼館長	私たちも読書通帳を作るときその例は見たんですけども、そうすると、例えば2万円の辞書を借りれば5冊借りればもう10万になっちゃうんです。でも、やっぱり本の価値っていうのは値段だけではないと思うので、うちのスタイルはそういうスタイルになってるんですけども。励みにはなるかもしれませんが、読書通帳、そういった形でいろんな様式というのがあるかと思います。
半田委員	高学年とか中学生になれば自分で判定できると思うんですけども、中身ほとんど忘れてらばゼロに近くなるよっていうのは話しておかないと。とりあえずいくら相当いわゆる積もり貯金みたいな形で、励みにはならないのかなと。忘れてらば読まないのと同じだっていうふうに言われてるから。忘れてらばゼロになるんで。一つの励みにはならないのかなとは思ったんですけどね。ちょうど小牛田にあったので。 あと、もう一ついいですか。今、千葉亀雄さんの冊子っていうか、この中に地図が載ってるんですけども、1ページの地図と範囲が違うんですよ。これは割と広めに書いてあって、あっちの方向から来ればこの道路だ、こっちの方向からくればこの道路だっていうのが分かるんですけども、要覧の1ページの地図では狭すぎます。そうは思いませんか。何で思ったかっていうと、そもそも私南郷の方なんですけど、南郷のメインストリートが載ってないんです。いかにも広そうに書いてある道路なんですけど、これは残念ながらメインストリートじゃなくて、ただ南郷を通過していただくだけの346号線であったり、メイン

	<p>ストリートがなくてももっと広い範囲の地図をこんな感じで小牛田も南郷もどなたかに作っていただいたらどうかなって思うんですけども。私は要覧の中の地図は不満です。どっからどう繋がるのか、どちら方面からどちら方向に行くっていうのが、これだけでは分かりません。南郷の方ですけど、花野果のところに色が変わってずっと線が縦に引いてありますけれども、これは国道 346 号線で、全然メインストリートではなくて、ということですね。</p> <p>例えばこれを見て、知らない人がじゃあ図書館に行くかっていった時に、これだけで来れるかっていう疑問を感じるということです。</p>
木田委員長	はい。というご意見をいただきました。
草刈課長補佐兼館長	地図はかなり苦労して作っておりますですね。ちょっとできるだけ努力して分かりやすい地図を作りたいと思います。
木田委員長	頑張ってください。時間も時間なんですけど、まだご発言いただいていない委員さん方、一言いかがでしょうか。はいどうぞ。
岩淵委員	<p>岩淵と申します。私去年、体調の関係とかで1回も参加できなかったのが、今年初めての参加なんですけども、私は本がとっても大好きで、幼いころ1冊だけ本買ってもらった覚えがあるんですね。若草物語だったかな。とてもうれしくて。あと高校に入ってから、学校に図書館がありまして、栗原なんですけど、そこにとってもいい司書の先生がいらっしゃいまして。陸上してたんですけど、陸上と読書で3年間過ごしたんですけど、本借りるのにもういっぱいになって、また紙をたしてもらって、いつも本を抱えて最終のバスで帰ってきてたんですね。やっぱり今は恵まれてるから本も自由に買えますけど、私たちの時代はなかなか本は買えませんでした。今本当に図書館があってありがたいなと思っています。電子の本とかいろいろありますけど、やっぱり紙を触って文字を見て、本を読みたいなと今実感してます。こんな感想でごめんなさい。</p>
木田委員長	ありがとうございます。志摩さんいかがですか。
志摩副委員長	<p>今のちょっとお話に付け加えてですけど、私もスマホでこう見ると歳なんですよね、やっぱり疲れますよ。すごく疲れて、やってるうちに間違ってしまうと、あれどこ押したらいいんだと思ったり、すごい時間かかるんですよ。やっぱり私もどっちかっていうとそういう読み方が嫌いで、やっぱり本がいいなと思って。途中でやめる時はちゃんと挿して置いておけますので。だからやっぱり本はいいですよ。スマホの時代でもやっぱり図書館というのはなくてはならないような気がしますね。将来ひょっとしたら図書館も全部本がなくなって、みんなこれで見るかもしれませんがね。そういう時代にはならないでほしいです。</p>
木田委員長	渡邊委員さんいかがですか。
渡邊委員	<p>やっぱり今スマホを使用している大人も子供も多いので、それもあるし、新聞もやっぱり取ってない家庭も増えてくると思うので、そういう活字離れとかもあると思います。息子が高校生なんですけど、学校にも図書館があるので、そっちの利用も増えているのと、あと部活動をしてる子はやっぱり帰りが遅くなって、町の図書館に来る時間もないし、休日にも部活動があってやっぱり利用する機会も減っているのかなと思います。以上です。</p>
木田委員長	はい。ありがとうございます。では最後に学校現場から。
小野委員	南郷中学校の小野です。南郷図書館の方には本当にお世話になってます。やはりちょっと本離れというか、今年は図書室での本の利用が



	<p>少ないということを図書館の支援員さんが言っておりますので、いろいろ学校でも工夫していかなければいけないなと思っています。以上です。</p>
木田委員長	<p>ありがとうございました。</p>
草刈課長補佐兼館長	<p>今こちらでお話したのは、実際に本の貸し出しとか人の動きを中心にお話をさせていただいてたんですけれども、小牛田も南郷も、本を借りる以外に人が集まる場としても利用がされています。</p> <p>小牛田の方は、学習席とかを設けて今開放してますけれども、そちらの利用もやはり多いということがあります。南郷に関しましては、本を借りながら人と会話をしたい方がいらっしゃるってような形もあるので、図書館っていうのは、本を中心にして人が集まる場でもあるのかなというふうに考えてますので、そういうふうな居心地の良い環境もこれから私たちが作っていかなければならないのではないかとこのように考えております。以上です。</p>
木田委員長	<p>ありがとうございました。では大変長時間になってしまいました。はいどうぞ。</p>
菅井主幹	<p>この建物ができてから33年がもうすでに経過しました。34年目に入ります。ということで、あちこち傷んでるように思われます。例えば、今、皆さん涼しい空気をちょうだいしてると思うんですけども、空調機器も34年目に入ります。34年目に入れば、交換という話になると思います。</p> <p>同じように千葉亀雄記念文学室は、33年間同じ展示のままでした。資料が非常に危なくなってきました。それで今後なんですけども、遺族から寄付をされた106点の遺品と書籍。それらを合わせると今400点ぐらいになっております。購入した部分も含めてですが、その辺の保存あるいは将来的にはリニューアルということをちょっと考えております。</p> <p>すぐはできないとは思いますが、まずもっては今あるものの資料の保存について今業者さんと相談したりして、あるいは仙台文学館の方にご支援をこいながらやっております。その後に建物のリニューアル。実は公共図書館等の補助金ってほとんどございません。借金をしてやらないとないんですが、一部内閣府の方で田園都市デジタル補助金がありましてですね。そっちの方で5月の新聞に載っていた福島県の昭和村というところでは、電子図書館をやるのに100%の補助をもらってスタートしてるってところがありました。その補助金等を来年になるか再来年になるかはちょっと分かりませんが、使ってもっと見やすいような感じに、あるいはリニューアルの費用を掴んでいければなと考えております。その後に建物のリニューアルも将来的には必要になってくるのではないかと。</p> <p>ただ、町は今、統合中学校の建設をやっておりまして、令和7年開校の予定です。借金の償還もスタートするわけですが、その見通しが立つのはその辺りだろうということで、執行部の方に確認をとっておりますので、おいおい計画を立ててリニューアル、あるいは建物のリニューアルっていうようなことも考えられますので、皆様にご承知しておければなと思います。以上でございます。</p>
木田委員長	<p>ここまでがその他ですね。報告・協議の(5)のその他になります。はい。あまりスムーズではない運営で申し訳ございませんでした。これで、協議を終了いたします。</p>
菅井主幹	<p>今日の会議は閉会となります。大変ご苦勞さまでございました。</p>

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和5年 月 日

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_